白井哲哉 Tetsuya SHIRAI
教授 Professor
博士 (史学) Ph.D.
Keywords: 日本アーカイブズ学、公文書館、歴史資料、震災資料、被災資料
Contact: tetsushi@slis.tsukuba.ac.jp

IMAGINE THE FUTURE.

Graduate School of Library, Information and Media Studies
University of Tsukuba 筑波大学

研究概要

私の主な専門分野は日本アーカイブズ学です。アーカイブズ学の目的は過去・現在・未来のアーカイブズに対する調査研究及び保存活用実践を通じて、その科学的発展と実践的深化を目指すことにあります。日本アーカイブズ学の研究対象は二つに大別されます。一つは組織・団体・個人の活動の証として保存管理される資料群（アーカイブ資料）。もう一つはアーカイブ資料を保存公開する公文書館や文書館と呼ばれる施設（アーカイブ施設）です。

現在の私は、地方や地域の視点に立って、地方自治体の保存管理する歴史的公文書等や地域コミュニティの管理する歴史資料（古文書）が有する構造と情報、またそれらの保存活用方策を主に研究しています。近年は福島県を主なフィールドに、東日本大震災及び原子力発電所事故の被害や復興にかかわる文書・記録・資料の保全実践と調査研究を進めています。また関東近県をフィールドとして歴史的公文書等の保存活用にかかる実践活動や調査研究に携わっています。

www.slis.tsukuba.ac.jp

論文

1) 白井哲哉「被災の記憶と資料を未来へ伝える試み―双葉町の震災資料保全活動―」『人間文化研究機構ブックレット 地域歴史資料救出の先へ』, p54-p67, 2018 年 3 月
2) 白井哲哉・須田努編『地域の記憶と記録を問い直す―武州山の根地域の 19 世紀―』八木書店 , p394, 2016 年 4 月
3) SHIRAI Tetsuya. Exhibitions in local archives in Japan, COMMA, ICA, 2014/1-2, p185-p194, sep.2015
4) 白井哲哉「地域における被災文化遺産救出体制の構築と課題」『国文学研究資料館紀要　アーカイブズ研究篇』9, p43-p67, 2013 年 3 月
5) 白井哲哉「歴史展示のポストモダニズム」『歴史学研究』855, p9-p16, 2009 年 7 月
6) 白井哲哉『日本近世地誌編纂史研究』思文閣出版 , p354, 2004 年 2 月

社会貢献活動

2017 年度における主な社会貢献活動は下記のとおりです。国立歴史民俗博物館（外部評価委員会委員）、茨城県つくば市（公文書等管理指針策定懇話会座長）、茨城県常陸大宮市（文書館運営審議会委員）、埼玉県春日部市（文化財保護審議会委員）、静岡県（歴史的資料の選別収集に関する審査会委員）、東京都立川市（市史編さん委員会委員長）、福島県大熊町（アーカイブズ検討委員会委員長）

メッセージ

私や本研究科にとって、アーカイブズ学は図書館情報学や博物館学とともに、未来の視点に立脚した新たな知識情報学の構築を目指す研究分野です。過去から現在までの歴史資料、現在の行政や企業活動の証拠となる文書、災害の記憶を未来へ伝える資料など、具体的な記録や資料に対する興味があると“とっつきやすい”でしょう。学問の入口は広いので、素朴で様々な興味関心をもってその扉を開けてみてください。

関連情報サイト

1) http://www.slis.tsukuba.ac.jp/futaba-archives/　2) http://www.slis.tsukuba.ac.jp/futaba-archives/en/
3) http://ibarakishiryou.web.fc2.com/